

CIインサイトレポート

－ SLE －

【 目次見本 】

§ レポート全体概要

調査対象疾患	SLE（全身性エリテマトーデス）＜一部 ループス腎炎＞	
調査ポイント	診療動向	<ul style="list-style-type: none">➤ SLE患者の受診状況、重症度分布を診療科別に分析➤ 症状（臓器病変）の出現状況を患者タイプ別に分析 ⇒ 国内のSLE診療実態を徹底分析！
	既存治療/ 既存薬	<ul style="list-style-type: none">➤ 既存薬の処方状況・製品評価を薬剤別に分析・検証➤ 現状の治療成績（疾患活動性の低下/寛解導入）を検証 ⇒ 既存治療のアンメットニーズを徹底検証！
	新規薬剤	<ul style="list-style-type: none">➤ アニフロルマブ、オルミエントのポテンシャル・ポジショニングを分析・検証➤ 新規の作用機序（JAK、TYK2、BTK、BAFF、CD40 等）のポテンシャルを検証➤ ループス腎炎の新規薬剤（ボクロスポリン、コセンティクス）のポテンシャルを検証 ⇒ 今後の治療パラダイムシフトを徹底予測！ （新規薬剤の参入による治療動向の変化は？）
	臨床開発の 方向性	<ul style="list-style-type: none">➤ 過去の開発の失敗要因について分析・検証➤ 開発成功に向けたモデルケースについて検証 ⇒ 今後の臨床開発の方向性を徹底予測！ （開発メーカーが注意すべきポイントは？）

■ 調査対象薬剤

既存薬	ステロイド	経口・注射
	免疫抑制薬	シクロフォスファミド (エンドキサ) 経口・注射 アザチオプリン (アザチオン/イムラン) タクロリムス ミコフェノール酸ミコフェノール (セルセプト)
	免疫調節薬 (抗マラリア薬)	ヒドロキシクロロキン (プラケル)
	抗BlyS抗体	ベリムマブ (ハンタスタ)
	抗CD20抗体	リツキシマブ
新規薬剤 (開発薬)	I 型インターフェロン受容体抗体	MEDI-546 アニフロルマブ
	JAK1/2阻害薬	バリシチニブ (オミエン)
	JAK1/ TYK2阻害薬 brepocitinib BTK阻害薬 Evobrutinib ICOSL/BAFF Rozibafusp alfa 抗CD40L ^Δ ゲ化Fab Dapirolizumab pegol	TYK2阻害薬 Deucravacitinib BTK/JAK1 ABBV-599 BAFF-R阻害薬 ianalumab 抗BDCA2抗体 BIIB059
	ループス 腎炎	カルシニューリン阻害薬
抗IL-17抗体		セクキヌマブ (コセンティクス)

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III K O Lヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	-	SLE患者を診療している医師 計 200名 ＜内 対象薬剤治験参加医 53名＞	SLE TOP KOL 3名 ＜関連学会 理事・役員＞
調査対象診療科 ＜施設種類＞	-	リウマチ・膠原病内科、一般・総合内科 腎臓内科、皮膚科 <HP/GP>	リウマチ・膠原病内科 <HP>
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜診療動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受診状況 ● 重症度別/症状（臓器病変）別患者状況 <p>＜既存治療/既存薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤選択の指標 ● 薬剤別処方状況/製品評価 ● 重症度別治療成績 (疾患活動性の低下/寛解導入) <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別認知状況 ● 薬剤別処方意向・期待度 <p>＜新規薬剤参入後の薬剤処方動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 処方数増加が見込まれる薬剤 <p>＜ループス腎炎に関する設問＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬物療法の実施状況 ● 新規薬剤の認知度/処方意向・期待度 <p>※項目全般において診療科別に分析</p>	<p>＜既存治療/既存薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤選択の指標 ● 薬剤別処方状況/製品評価* ● 現状での治療成績 (疾患活動性の低下/寛解導入) ● 既存治療のアンメットニーズ* <p>＜新規薬剤（開発薬）＞ 対象：SLE/ループス腎炎</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別評価/治療薬としてのポテンシャル ● 臨床上でのポジショニング予測 <p>＜新規薬剤参入後の薬剤処方動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の薬剤選択動向予測* <p>＜臨床開発の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去の開発の問題点 ● 今後の開発重点ポイント <p>等</p> <p>*の項目は、国内全体の実態/将来動向 についての検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2020年11月～12月		
体裁/頁数	Part I・・・PPT（or EXCEL）、Part II & III・・・PPT / A4 計約400ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	180万円（税別） 60万円（税別） 70万円（税別）

*Part別販売 可

< Part I データ分析編 目次 >

調査概要	3		
I. 既存品	4	Ⅲ. 関連企業動向	52
I -1. プロファイル	5	Ⅳ. 学会情報	63
I -2. 作用機序・特性	15	IV-1.日本リウマチ学会	64
I -3. 薬価	26	IV-2.日本臨床リウマチ学会	67
I -4. 販売高推移	35	IV-3.日本炎症・再生医学会	68
I -5. 臨床試験 (UMIN)	36	IV-4.その他の学会	69
I -6.臨床試験 (JAPIC)	39	V. 関連文献	70
Ⅱ. 開発品	40	V-1-1. 既存品・製品別	71
Ⅱ-1. プロファイル	41	V-1-2. 既存品・複数	77
Ⅱ-2. 作用機序・特性	46	V-2. 開発品	79
Ⅱ-3. 臨床試験 (JAPIC)	49	V-3. 既存品+開発品	87

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	16
1.SLEの診療状況	17
2.治療状況	27
3.既存薬の処方状況・評価	37
4.開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	57
5.今後の薬剤処方動向	70
6.ループス腎炎の薬物療法実施状況/開発薬の認知状況・処方意向	82

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3		
回答者プロフィール	4		
§ 調査結果	5		
1) SLEの診療状況	6	4) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	63
1-1.SLE診療患者数・新規患者数（直近3ヶ月間）	7	4-1.薬剤別治験参加状況＜対象：Ph 3開発薬＞	64
1-2.医療費助成受給状況	8	4-2.薬剤別認知状況＜対象：Ph 3開発薬＞	65
1-3.重症度別患者割合/薬物療法実施割合	10	4-3.薬剤別処方意向/期待度＜対象：Ph 3開発薬＞	69
1-4.症状別出現状況	12	4-4.薬剤別期待ポイント＜対象：Ph 3開発薬＞	74
1-5.ループス腎炎併発状況	18	4-5.薬剤別認知状況＜対象：Ph 2/その他開発薬＞	79
2) 治療状況	21	4-6.薬剤別処方意向/期待度＜対象：Ph 2/その他開発薬＞	85
2-1.臨床上でのガイドライン参考状況（国内/海外）	22	5) 今後の薬剤処方動向	93
2-2.治療方針決定時の重視内容（ガイドライン以外）	23	5-1.生物学的製剤の新規薬剤に対する要望	94
2-3.臨床上で重視する症状	24	5-2.処方数増加が見込まれる薬剤	98
2-4.臨床上での治療目標	28	5-3.薬剤選択の際に重視するチャネル	105
3) 既存薬の処方状況・評価	32	6) ループス腎炎の薬物療法実施状況/開発薬の認知状況・処方意向	107
3-1.臨床上での処方薬剤	33	6-1.薬物療法実施状況	108
3-2.直近3ヶ月間の薬剤別処方状況	35	6-2.開発薬の薬剤別認知状況	109
3-3.製品評価	41	6-3.開発薬の薬剤別処方意向/期待度	113
3-4.疾患活動性低下/寛解患者割合	47		
3-5.抗マラリア薬・生物学的製剤の非処方状況	49		
3-6.薬物療法の満足度	56		

< Part III K O Lヒアリング編 目次 >

調査概要	3
§ .Summary	6
1.薬剤選択の指標	14
2.薬剤処方状況	16
3.注目薬剤の処方動向・製品評価	21
4.治療成績	25
5.現状でのアンメットニーズ	28
6.新規薬剤（開発薬）の評価	30
7.今後の薬剤選択動向予測	35
8.新薬開発の方向性	37